

第3 第2期計画の進捗状況

1 第2期計画の進捗状況の考え方

第2期計画では、「がんにならない、がんになっても安心できる奈良県」を基本理念に、全体目標として、「がんにならない、がんで若い人が亡くならない」「全てのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく療養生活を送ることができる」「がんと向き合い、希望を持って暮らせる地域社会をつくる」の3つを設定し、総合的ながん対策を進めてきました(図20)。

第2期計画の推進及び進捗状況の評価をする場として、「奈良県がん対策推進協議会(以下「協議会」という。)」を設置しています。また、分野別施策の取組を推進し進捗を評価する場として、部会を設置するほか、既存の委員会を活用しています。

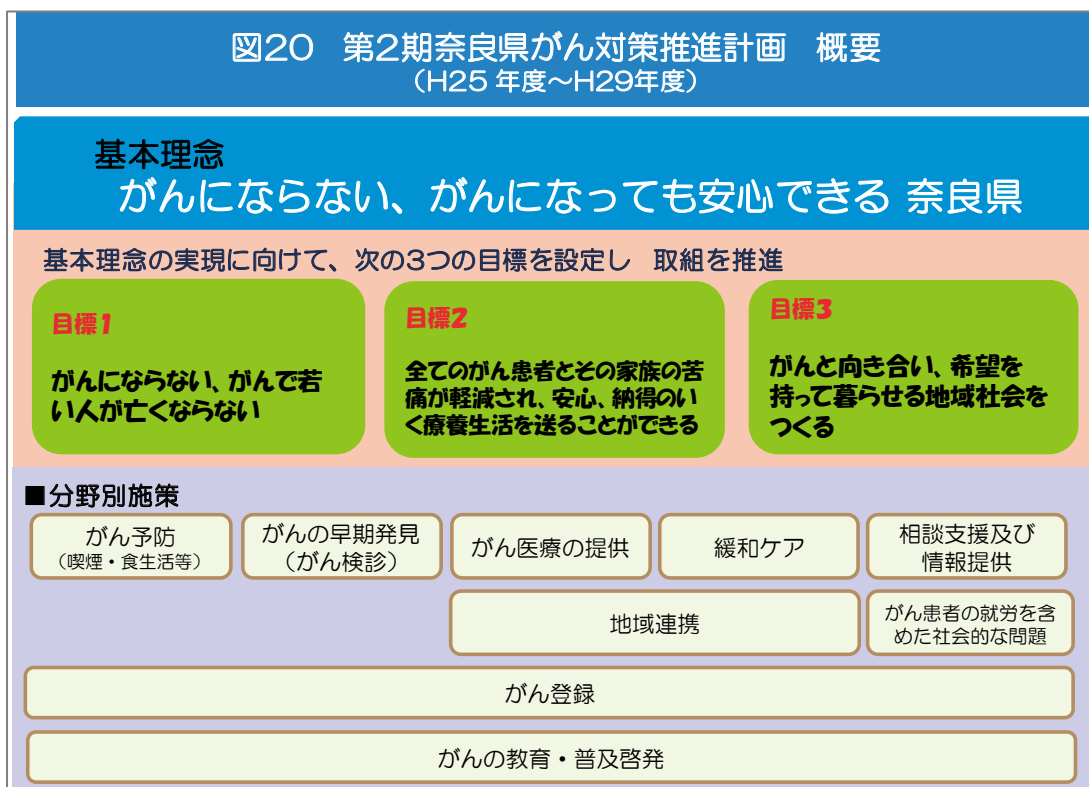
進捗状況の評価については、各分野の有識者や医療関係者、関係団体、がん患者等から構成される協議会等の委員とともに年度ごとに実施しました。また、計画の中間評価においては、委員延べ116名とともに、平成26年度に評価方法の検討を開始、平成27年度には各分野の進捗状況を点検し、報告書としてとりまとめました。さらに平成28年度からは、中間評価をもとに最終の進捗状況の評価しました。

進捗状況の評価の概要としては、

全体目標については…目標(がんによる75歳未満の死亡数を2017年に1,500人まで下げる)は達成見込み。

さらにながん種ごとの取組が必要です。

個別施策については…診療体制が整ったところは医療の質の向上への取組を重点化し、まだまだのところは取組をさらに加速する必要があります。



第2期計画の進捗状況から導き出された結果をふまえ、第3期計画の目標及び分野別施策を設定します。それぞれの結果については、第3期計画の中で詳しく掲載しています。

2 全体目標及び分野別施策の評価

第2期計画の全体目標及び分野別施策の指標を中心とした評価については次のとおりです。

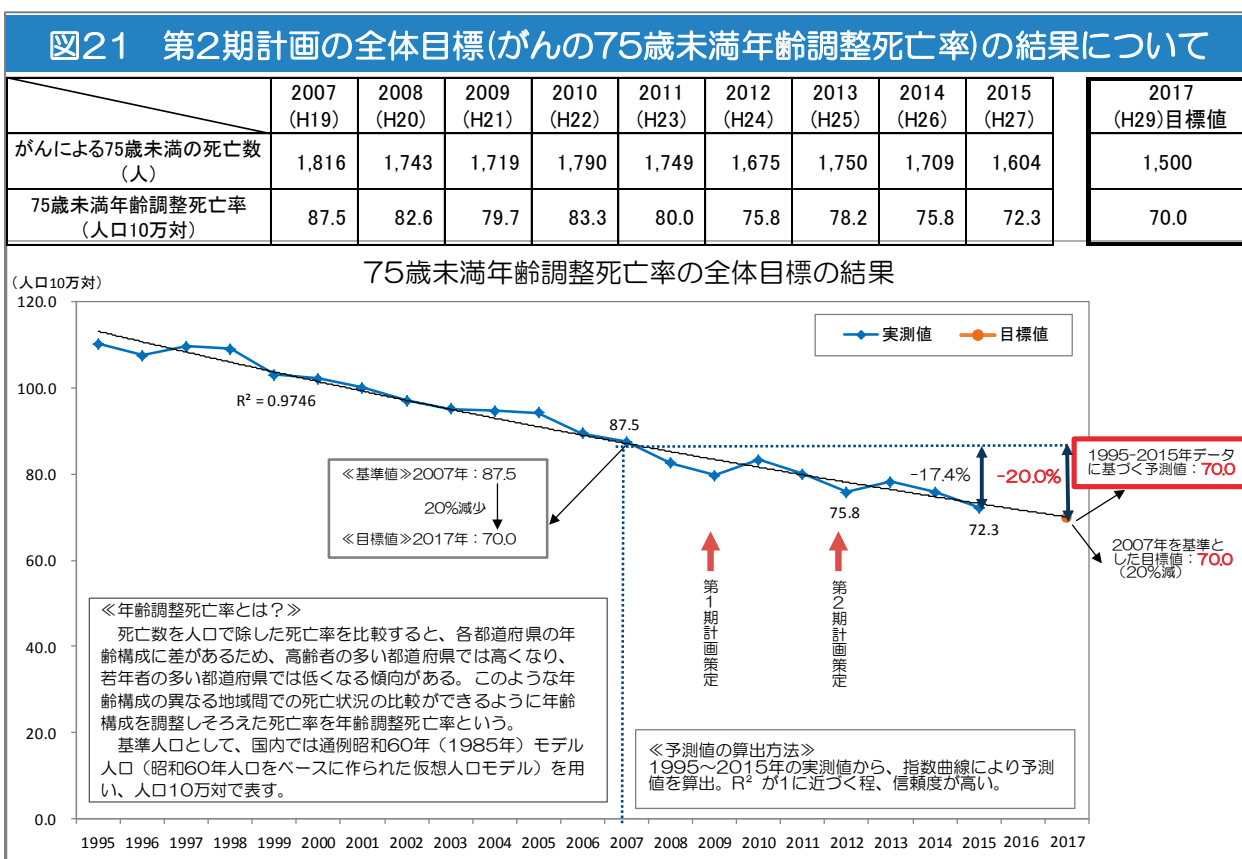
(1) 全体目標の評価について

目標値：がんによる75歳未満の死亡数を1,500人にする（平成29年）

＝がんの75歳未満年齢調整死亡率の20%減少（対平成19年）

がんの75歳未満年齢調整死亡率は、年々減少してきており、平成29年の予測値は、目標を達成する見込みです（図21）。

目標を達成できた要因分析については、現在あるデータ等からの検証は難しく、生存率等のがん関連データの収集・蓄積をすすめていく必要があります。



また、国の計画では、「75歳未満年齢調整死亡率20%減少（2005年ー2015年減少率）」を目標としていましたが、15.6%の減少にとどまり、目標未達成となりました。この10年間の全国状況を見ると、減少率が20%以上となったのは4県ですが、奈良県は全国一の減少率（23.3%）となりました（図22）。

しかし、死亡率の推移を罹患者の多い5つの主ながん（肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん）別に全国と比較してみると、男性では、すべてのがん種が全国を上回る減少率でしたが、女性では、肺がん、乳がんが全国より悪く、増加傾向が見られました（図23）。

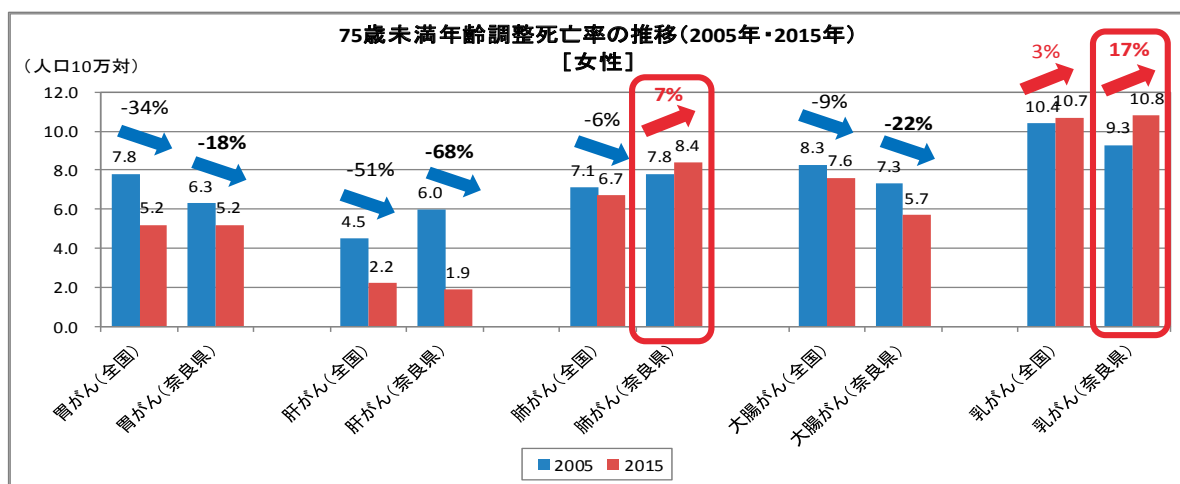
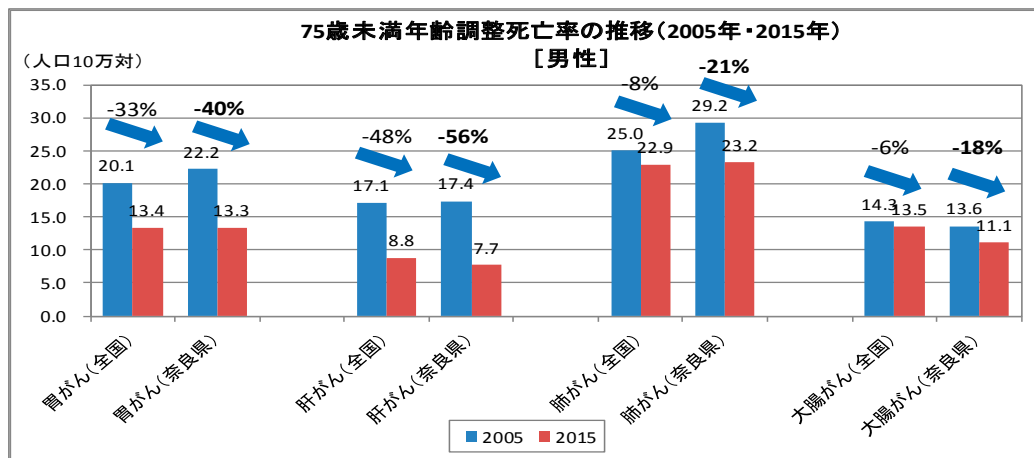
図22 都道府県別がんの75歳未満年齢調整死亡率の状況

番号	都道府県	実測値					2005-2015年 減少率	番号	都道府県	実測値					2005-2015年 減少率
		2005年	2010年	2013年	2014年	2015年				2005年	2010年	2013年	2014年	2015年	
00	全国	92.4	84.3	80.1	79.0	78.0	15.6%	24	三重県	84.3	77.4	75.2	70.8	75.2	10.8%
01	北海道	98.2	91.4	88.5	88.2	87.7	10.8%	25	滋賀県	86.6	75.0	70.6	71.9	69.4	19.8%
02	青森県	103.2	101.1	99.6	98.0	96.9	6.0%	26	京都府	89.8	84.8	78.8	78.9	72.5	19.2%
03	岩手県	91.0	88.4	80.8	79.5	81.0	11.0%	27	大阪府	101.8	90.3	86.3	83.8	84.4	17.1%
04	宮城県	89.8	81.7	76.9	76.5	77.3	13.9%	28	兵庫県	97.2	86.5	82.0	79.0	77.3	20.4%
05	秋田県	96.1	94.1	88.2	86.5	91.2	5.0%	29	奈良県	94.3	83.3	78.2	75.8	72.3	23.3%
06	山形県	84.4	80.6	80.4	78.4	71.4	15.3%	30	和歌山県	98.5	91.8	81.8	82.2	80.3	18.5%
07	福島県	90.5	84.0	79.8	77.9	80.3	11.2%	31	鳥取県	98.4	96.2	88.4	87.5	88.1	10.5%
08	茨城県	95.1	84.5	80.9	81.1	83.1	12.6%	32	島根県	93.8	80.1	79.6	81.1	79.3	15.4%
09	栃木県	91.3	85.1	80.2	80.5	76.9	15.8%	33	岡山県	81.6	79.4	74.8	76.6	71.7	12.2%
10	群馬県	89.0	83.2	77.8	78.3	75.4	15.3%	34	広島県	91.6	79.9	75.3	74.4	72.0	21.4%
11	埼玉県	93.5	84.9	78.8	79.1	78.4	16.2%	35	山口県	96.6	87.4	80.7	77.4	79.6	17.5%
12	千葉県	90.9	81.8	78.4	76.6	76.3	16.1%	36	徳島県	88.3	82.7	76.6	76.5	73.0	17.3%
13	東京都	93.9	85.4	80.6	78.4	77.9	17.0%	37	香川県	83.2	79.5	76.5	75.0	76.6	8.0%
14	神奈川県	90.2	82.5	78.8	78.1	76.8	14.9%	38	愛媛県	89.7	86.1	77.7	78.6	78.2	12.8%
15	新潟県	92.1	81.6	81.6	78.5	75.8	17.7%	39	高知県	96.5	88.4	85.1	78.4	80.2	16.9%
16	富山県	85.2	79.7	75.3	74.1	77.1	9.5%	40	福岡県	100.8	87.6	84.6	83.9	82.7	17.9%
17	石川県	85.8	81.6	74.6	75.8	77.8	9.2%	41	佐賀県	102.6	87.9	85.9	85.9	79.2	22.8%
18	福井県	84.2	77.0	71.0	72.1	71.1	15.5%	42	長崎県	98.0	88.3	88.0	85.3	81.4	17.0%
19	山梨県	86.3	78.2	72.3	74.4	75.8	12.2%	43	熊本県	82.3	79.3	71.5	73.6	72.2	12.4%
20	長野県	75.7	67.3	66.1	68.3	62.0	18.1%	44	大分県	82.6	77.4	72.4	75.3	70.5	14.6%
21	岐阜県	85.9	79.8	76.0	75.6	76.3	11.2%	45	宮崎県	85.5	82.0	78.4	73.1	78.2	8.5%
22	静岡県	86.2	81.0	76.5	76.5	73.3	15.0%	46	鹿児島県	90.6	83.7	81.1	79.0	79.4	12.4%
23	愛知県	91.9	83.6	78.9	76.9	75.3	18.0%	47	沖縄県	85.0	77.3	78.0	76.5	77.7	8.6%

*2005-2015年減少率：(2015年実測値÷2005年実測値) - 1 の絶対値 (%)

出典：国立がん研究センター がん情報サービス
部位別75歳未満年齢調整死亡率（1995年～2015年）

図23 奈良県のがん種別75歳未満年齢調整死亡率の推移



(2) 分野別施策の評価について

第2期計画の6つの分野の進捗状況は次のとおりです。

① がん医療

	1 がん医療の提供	2 緩和ケア	3 地域連携
めざす姿	1 がん医療の提供 ○がん患者が、県内の医療機関で、より質の高いがん医療を受けることができる。 ○手術療法・放射線療法・化学療法のさらなる充実とそれを実践できる効果的なチーム医療体制の整備が進んでいる。	2 緩和ケア ○全てのがん患者とその家族が、居住する地域にかかわらず必要な時に質の担保された切れ目のない緩和ケアを受けることができる。 ○患者やその家族ががんと診断された時から緩和ケアを受けることのできる体制の整備が進んでいる。	3 地域連携 ○がん患者とその家族が、地域での生活を維持しながら、診断、治療、さらに在宅、看取りまで切れ目のない地域連携による質の高いがん医療を受けることができる。 ○がん診療に関する地域連携体制の整備が進んでいる。
指標の進捗状況	1 がん医療の提供 ・県内拠点病院の県民治療力バース率 ②③66.0%→②⑤70.9% ・がん治療方法についての情報が不十分であると回答のあった割合 ②⑤31.9%→②⑨29.4% ・悪性腫瘍手術実施件数（人口10万対（1ヶ月分）） ②③29.5件→②⑥34.1件	2 緩和ケア ・緩和ケアは希望に応じて、すぐに提供されたと回答のあった割合（身体的症状） ②⑤82.4%→②⑨92.0% （精神的症状） ②⑤75.0%→②⑨95.7% ・緩和ケアの認知度 ②⑤68.9%→②⑨78.2% ・緩和ケアの情報が不十分であったと回答した割合 ②⑤39.0%→②⑨37.0%	3 地域連携 ・地域連携パスの認知度 ②⑤12.8%→②⑨14.5% ・がん患者の在宅死亡割合 ②③15.2%→②⑦17.5%
主な取組とその成果	○県拠点病院1か所、地域拠点病院4か所 国指定の地域がん診療病院を南和に新設 →がん医療の空白医療圏を解消 ○県指定のがん診療連携支援病院 ②②1か所→②⑥3か所に増設 ○緩和ケアの体制整備 ・県拠点病院に緩和ケアセンター整備 ・緩和ケア外来の受診者数（拠点病院） ②⑤1,021人→②⑦1,634人 ・緩和ケアチーム新規診療症例数 ②⑤ 572件→②⑦ 846件 ・医療従事者対象の緩和ケア研修会開催 受講者数 ②④ 473人→②⑨1,391人 ○全拠点病院で緩和ケア等チーム医療の体制を整備 ○放射線治療専門従事者を県拠点で養成 5人 専門・認定看護師 ②③38人→②⑨70人 ○口腔ケアの医科歯科連携となる取組を継続実施 ○県医師会と連携した在宅緩和ケア研修会の開催 ・緩和ケアに関する多職種連携カンファレンスを実施している拠点病院の割合 ②⑦60%→②⑨80% ○5大がんクリティカルパス「私のカルテ」作成 ・パス適用した患者延べ数（県統一パス） ②④49件→②⑩108件 ・パス使用届出施設数 ②④177か所→②⑨314か所		



緩和ケア研修会

② がん患者等への支援

	1 相談支援及び情報提供	2 がん患者の就労を含めた社会的な問題
めざす姿	1 相談支援及び情報提供 ○全てのがん患者やその家族が、不安や悩み、疑問に対して、いつでも身近なところで、必要な情報を手に入れることができ、その悩みや疑問が軽減している。 ○がん患者やその家族が活用しやすい相談支援体制の整備が進んでいる。	2 がん患者の就労を含めた社会的な問題 ○がん患者とその家族が抱える仕事と治療の両立についての不安が軽減され、働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる。 ○事業者において、がんやがん患者に対する理解が進んでいる。
指標の進捗状況	1 相談支援及び情報提供 ・がん相談支援センターの認知度 ②47.0%→②951.8% ・がん医療に関する相談支援及び情報提供について誰に相談すればよいのか分からないと回答した割合 ②519.8%→②921.6%	2 がん患者の就労を含めた社会的な問題 ・がん治療中に治療と仕事を両方続けられるような支援または配慮を事業主から受けた割合 ②574.2%→②978.9% ・がん治療を受けながら、働き続けられる環境だと思いと回答した割合 ②525.3%→②929.1%
主な取組とその成果	○がん相談支援センター設置 ②5 か所→②9 か所 ・がん相談支援センター利用者数 ②32,591 件→②85,880 件 ○ピアサポーター等の活性化 ・48人養成 ・がん患者団体等への事業委託 11 団体 ○ピアサポーターと連携した患者サロン設置 ②7 か所→②912 か所 ・患者サロンの利用者数 ②3609 人→②8801 人 ・拠点病院の情報共有の場「患者サロン運営者会議」開催 ○療養ガイド、がん相談センター周知リーフレット作成配付 ○全拠点病院に社会保険労務士による就労相談窓口の設置 ○地方労働局等と連携した事業所向け研修会と就職相談事業の実施	



③ がん登録

	がん登録
めざす姿	○本県の罹患率、5年相対生存率が明らかとなり、がん対策の推進に活用されており、がんの罹患が減少している。 ○地域がん登録の精度が向上している。
指標の進捗状況	・地域がん登録 精度 指標値 H23 年症例から国内基準 DCN(死亡情報で初めて把握された症例)：②137.1%→②99.6% DCO(死亡情報のみの症例)：②137.1%→②96.3% IM 比(罹患/死亡比)：②12.48→②2.42 ・罹患率の公表 H25 年症例を H 29 年に公表
主な取組とその成果	○がん登録 ・医療機関数 ②475 施設→②9124 施設 ○地域がん登録報告書、県民への公表 ○データ分析の試み ・部会・協議会でデータ分析の試み開始 ○がん登録データ活用講演会の開催 ○全国がん登録システム導入(H28 年～)



④ がん予防 ⑤がんの早期発見

	喫煙	がん検診の受診促進
めざす姿	○県民が、がんの発症と生活習慣の関係について正しい知識を持ち、がんの発症を予防する努力をしている。 また、県民の健康意識が高まり、規則正しい生活習慣を心がけている。 ○県民が、がん罹患するリスクを理解し、有効な予防法について実践できるようになっている。	○県民が検診の重要性を理解し、受診している。 また、有効な正しい方法のがん検診が行われ、早期発見されて、がんで若い人が亡くならない社会になっている。 ○県内で効果の高い検診が実施されている。
指標の進捗状況	・成人の喫煙率 全体：②③14.1%→②④12.2% 男性：②③24.1%→②④22.1% 女性：②③ 5.3%→②④ 5.1%	・がん検診受診率 胃：②③29.3%→②④36.2% 肺：②③20.2%→②④38.5% 大腸：②③24.7%→②④39.0% 子宮：②③35.7%→②④38.3% 乳：②③35.7%→②④38.5% ・精密検査受診率 胃：②③70.4%→②④85.3% 肺：②③85.9%→②④89.8% 大腸：②③66.4%→②④74.7% 子宮：②③61.8%→②④81.8% 乳：②③85.2%→②④94.6%
主な取組とその成果	○成人の喫煙率 ・ソーシャルマーケティングの手法を利用したリーフレット開発。 ・公共施設の禁煙実施率↑ ・公立小、中学校の敷地内禁煙実施率 100% ○未成年の喫煙率 ・未成年者禁煙支援相談窓口を設置 ○妊婦の喫煙に関すること ・妊産婦の禁煙支援者のためのガイドブック作成、研修会開催 ○がん検診の受診促進 ・がん検診個別受診勧奨・再勧奨のモデル事業の実施 14 市町村 ・「がん検診を受けよう！」奈良県民会議の開催 ○検診精度の向上 ・市町村、集団検診機関に対し精度管理実施 ・胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん検診の従事者研修会実施	



⑥ がんの教育・普及啓発

	がん教育・普及啓発	
めざす 姿勢	○県民が、子どもの頃からがんに関する正しい知識を持ち、がんの予防や早期発見に注意を払っている。 また、自分や身近な人ががんになっても、それを正しく理解し、向き合っている。 ○がんについて学ぶことのできる機会が整備されている。	
指標の 進捗状況	・がん検診を受けられる年齢になったら検診を受けようと思うと回答のあった生徒の割合 (授業前後) 中学生 ②⑥70.0%→90.0% 72.9%→90.2% 	